

「定置用燃料電池大規模実証事業」助成金の受給決定について

記者各位

当社(社長:渡 文明)は、財団法人新エネルギー財団が、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO技術開発機構)から助成を受けて実施する「平成17年度定置用燃料電池大規模実証事業」の第1期分助成金交付を申請しておりましたが、本日、44件分の交付の決定を受けましたのでお知らせいたします。この助成金は、燃料電池を一般家庭等に設置し、実際の使用状況のデータ等を取得する事業を対象としており、官民を挙げて燃料電池に関する技術開発を促進し、実用化を進展させることを目的に交付されるものです。

当社は、長年に亘って燃料電池の研究開発に取り組んできており、本年3月1日には三洋電機株式会社と共同開発したLPガス仕様家庭用燃料電池システム「ENEOS ECO LP-1」を商品化し、2005年度中に150台を関東圏1都10県の一般家庭等に設置する予定です。

この度、大規模実証事業助成金の交付を受けることにより、当社は設置先である一般家庭等での実際の使用状況における運転データ、実測データの取得を行って新エネルギー財団に報告し、今後の燃料電池技術の開発、発展の一助としていくなど、家庭用燃料電池の普及促進に向けて努力してまいります。

記

平成17年度第1期 定置用燃料電池大規模実証事業 交付決定内訳

1. 実施者(エネルギー供給事業者) : 新日本石油株式会社
2. メーカー : 三洋電機株式会社
3. 燃料種 : LPガス
4. 大規模実証事業実施件数 : 44件(申請件数55件)

(参考)ENEOS ECO LP-1の仕様

1. 定格発電容量 750W
2. エネルギー効率 発電効率 34%(LHV*) 熱回収効率42%(LHV*)
3. 貯湯槽容量 200リットル
4. 燃料種 LPガス

※ LHV: Lower Heating Value(低位発熱量)の略称。

以上